

## 1. 訪問看護とは

病気や障害があっても、療養者が望む場合、その人の有する能力に応じて自立した生活を営むことができるよう、看護職等が療養者の家庭に直接出向き、その生活を支援する看護活動。

## 2. 訪問看護利用者の概要

明日から訪問看護ステーションを始めることになりました。何を準備したら、訪問看護をしていいでしょう？

## 3. 訪問看護を行うために必要な指定

- ・ 医療保険
- ・ 介護保険



PT(理学療法士):寝返り、起き上がり、座位、移乗、歩行、車椅子操作などの基本的動作能力の現状の評価、運動麻痺や感覚障害、認知機能、意欲や抑うつなどの心理機能などを勘案して、運動機能や基本的動作能力の回復見通しを立てる



OT(作業療法士):上肢運動麻痺や認知・心理機能、および食事・排泄・更衣・入浴・整容などの日常生活活動、料理・掃除・買い物などの生活関連活動、趣味や大事にしている活動に関する能力を評価し、機能・活動能力の回復見通しを立てる。



ST(言語聴覚士):言語機能やコミュニケーション能力、摂食嚥下機能を評価し、それらの機能・活動能力の回復見通しを立てる。

## 4. 人員

- ・ 管理者
- ・ 看護職員

- ・ リハビリ職員:作業療法士(OT)、理学療法士(PT)、言語聴覚士(ST)については 適当数配置  
⇒リハビリ職員は介護保険法に基づき訪問看護を行うことができる

- ・ 事務職員:請求事務、経理などを担当

- 居宅介護支援事業所が併設されている場合、ケアマネージャーが居る事務所もある。

## 5. 保険の適応

訪問看護は「 」または「 」によって利用できる

介護保険で利用できる場合は医療保険での利用はできない。(介護保険が優先される)

例外: 以下の場合には医療保険での利用

①厚生労働大臣が定める疾病等の患者

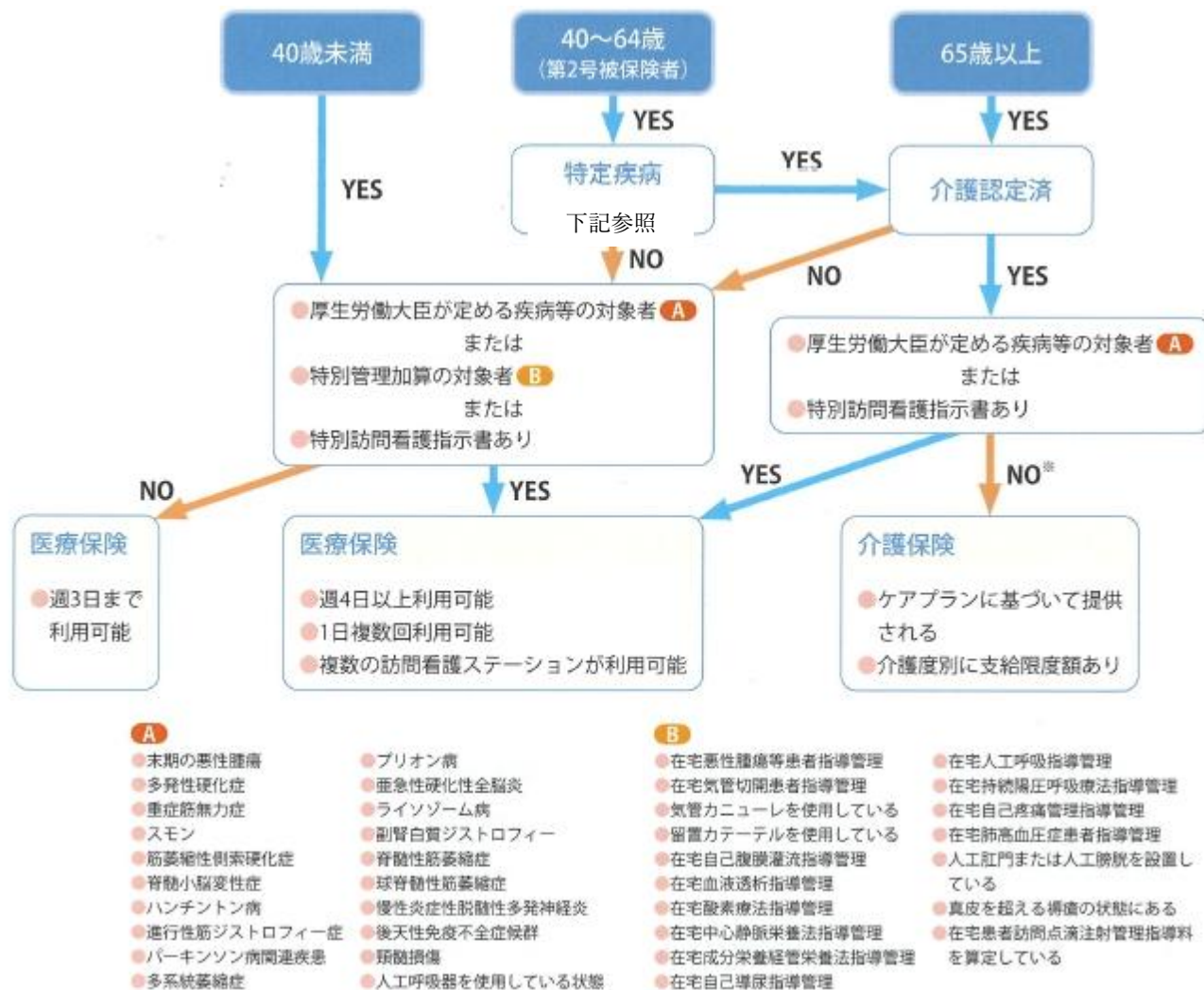
②精神科訪問看護の対象者(認知症を除く)

③主治医から「 」の交付を受けた者

退院直後や急性増悪や終末期などで交付・月 回 の交付( 日間利用可能)

気管カニューレを使用しているもの、真皮を超える褥瘡のあるものは月 回まで交付できる

【訪問看護の保険適応のフローチャート】



※「精神科訪問看護の対象者(認知症を除く)」の場合は、医療保険による訪問看護(週3日まで)となる。

## 被保険者の要件と区分

|                                                           |                                                                                |
|-----------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|
| <b>第1号被保険者</b><br><br><b>65歳以上</b><br>要件: 原因を問わず要介護・要支援状態 | <b>第2号被保険者</b><br><br><b>40～64歳</b> (医療保険加入者)<br>要件: 老化に起因する <b>特定疾病</b> によるもの |
|-----------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|

| 特定疾病一覧  |         |        |        |       |           |         |        |      |           |     |          |
|---------|---------|--------|--------|-------|-----------|---------|--------|------|-----------|-----|----------|
| パ       | セ       | リ      | の      | こ     | し         | た       | ガ      | キ    | そ         | と   | へ        |
| パーキンソン病 | 脊髄小脳変性症 | 脊髄管狭窄症 | 関節リウマチ | 脳血管疾患 | 骨折を伴う骨粗鬆症 | 後縦靱帯骨化症 | 多系統萎縮症 | ガン末期 | 筋萎縮性側索硬化症 | 早老症 | 糖尿病      |
|         |         |        |        |       |           |         |        |      |           |     | 変形性関節症   |
|         |         |        |        |       |           |         |        |      |           |     | 閉塞性肺疾患   |
|         |         |        |        |       |           |         |        |      |           |     | 閉塞性動脈硬化症 |

練習問題：医療保険と介護保険どちらが適応される？

- 75歳の要介護3の糖尿病の利用者

解答：

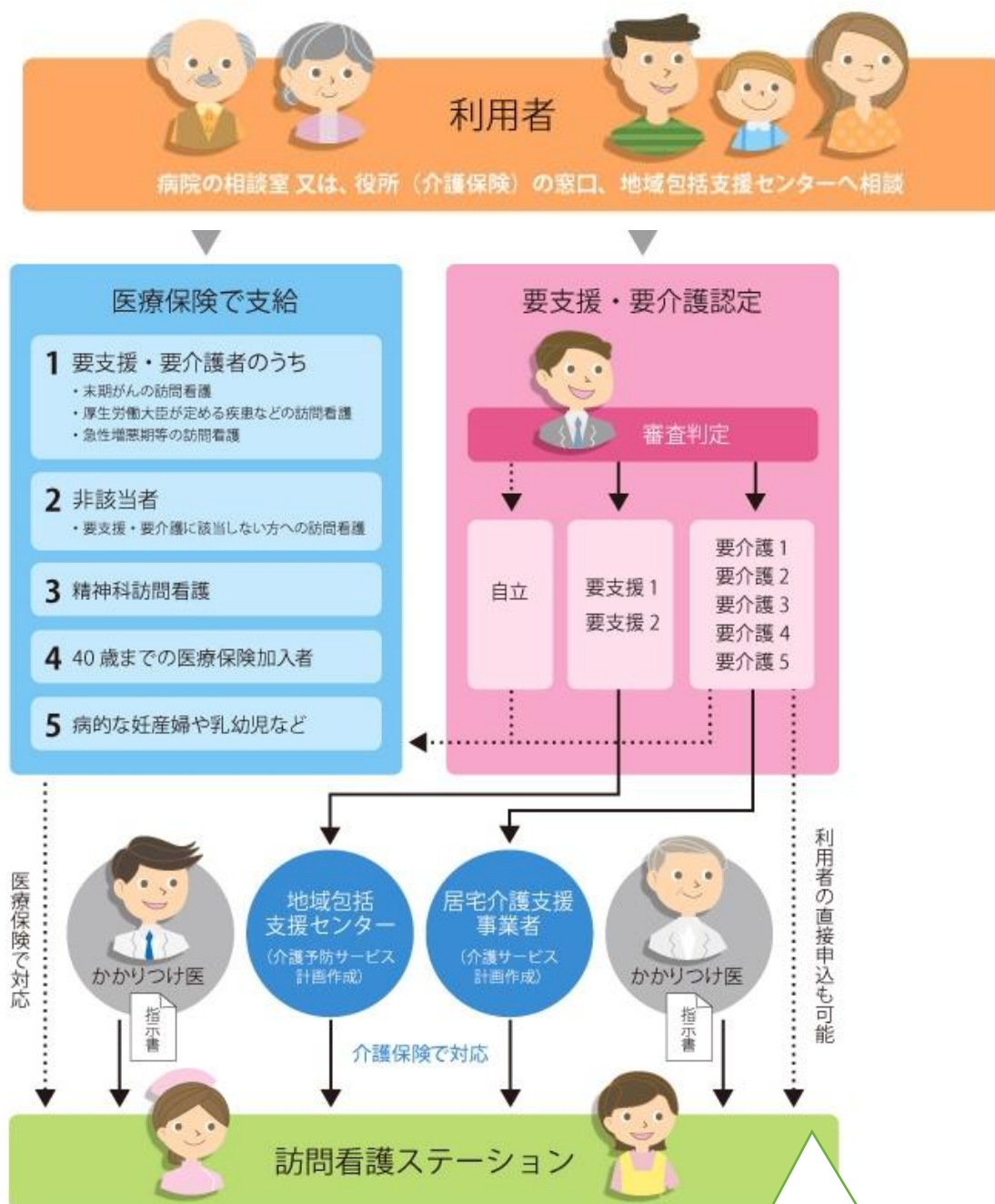
- 10歳の特別管理加算のない重症心身障害児の利用者

解答：

- 60歳の要介護5で褥瘡があり特別訪問看護指示書が交付された利用者

解答：

## 6. 訪問看護サービス利用までの流れ



## 費用

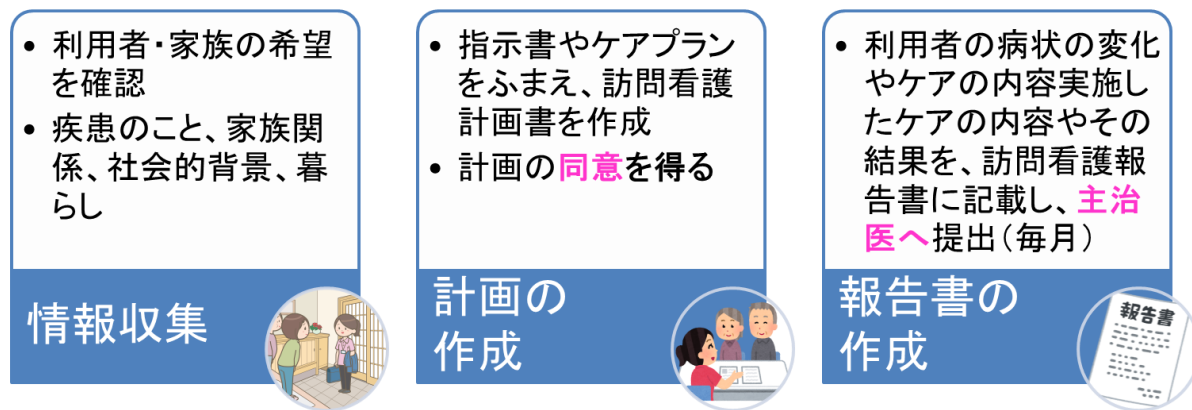
介護保険：原則 割

医療保険:70 歳未満は 3 割、

未就学児と 70 歳以上 75 歳は 2 割、75 歳以上は 1 割

\_\_\_\_の交付を受け、  
利用者との\_\_\_\_を経てサービスが開始

## 7. 訪問看護サービス提供の流れ



訪問看護で扱う記録

看護師作成：

主治医；

ケアマネージャーなど；居宅サービス計画書(ケアプラン)など

看護記録は、利用者の求めに応じて「**作成**」する

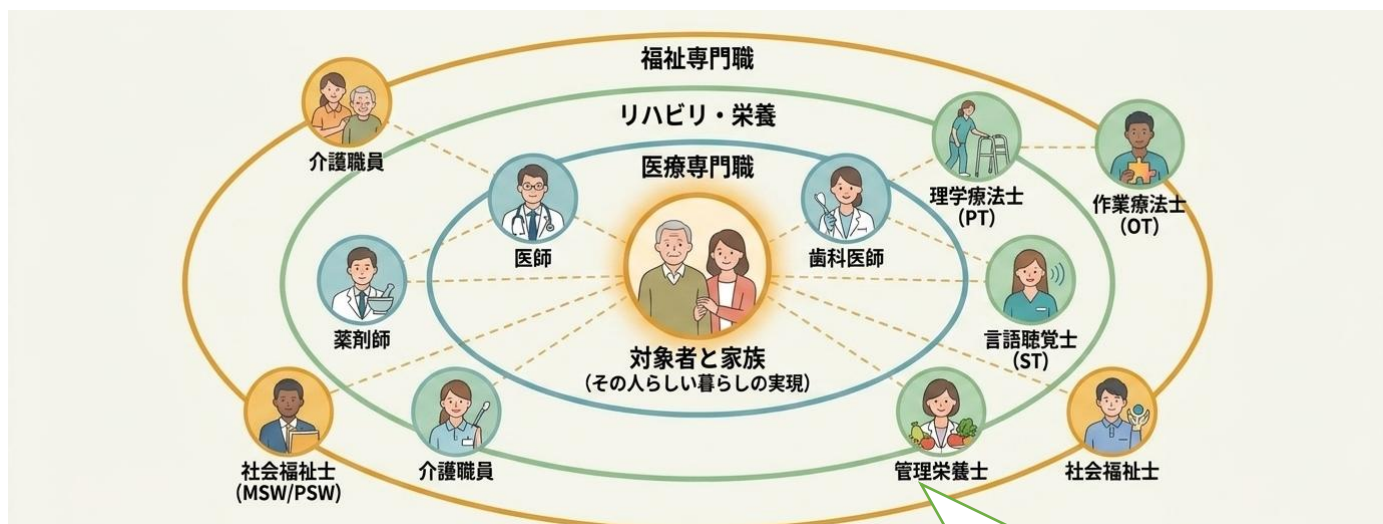
## 8. 訪問看護の役割

- (1) 健康状態の観察
- (2) 医療的ケア
- (3) 生活の再構築支援
- (4) 家族への指導とケア

医療とともに「生活を支える看護」

## 9. 多職種の機能と役割・協働・連携

地域で働く専門職はどんな職種？



<連携方法>

療養者の課題解決が目的  
組織と組織の関係  
対等な立場

生活の継続のために対象者の意向をふまえた同じ目標に向かってともに働くことが重要

## 10. 多職種の役割と連携

- 医療および保健指導
- 適切な指示

医師



- 病院や薬局で調剤に従事、医薬品開発や販売など
- 服薬方法や管理方法などの工夫
- 錠剤、カプセルの出しやすさ、一包化
- 服薬行為の安全・確実性を高める。

薬剤師



- 外来、訪問、通所リハビリがある。
- 苦痛・痛みの緩和、体位変換、拘縮予防、安楽な暮らしの工夫

リハビリ



- 口腔の疾患の予防処置、歯科診療の補助、歯科保健指導
- 治療内容や悪化予防を含めた治療後の留意点を提供

歯科医師  
歯科衛生士



- 専門的知識・技術を要する栄養指導、給食管理
- 暮らしの中でできる食事の工夫

栄養士



- 行政保健師、産業保健師、学校保健などの職種がある
- 主に法律や政策に基づく住民サービス。
- 地域で健康問題を持ち暮らしている人とその家族への支援。複雑で多くの問題を複合的に抱えるケースの対応

保健師



- 助産または妊婦、褥婦もしくは新生児の保健指導

助産師



- 日常生活を円滑に送れるように支援

介護職員



- 社会福祉士：福祉に関する相談援助、利用可能な制度・サービスの紹介、サービスの利用調整や関係者間の連携
- 精神保健福祉士：精神保健分野の医療と福祉をつなぐ相談援助受診入退院援助、施設入居者の在宅復帰支援

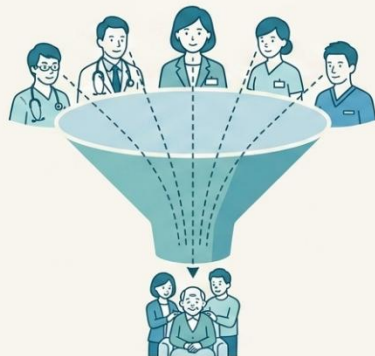
社会福祉士  
精神保健福祉士



訪問看護師が、わかりやすく情報提供することでスムーズな連携に繋がる。

## 11. 連携の場

### サービス担当者会議



- 主催：ケアマネジャー
- 目的：個別の対象者のニーズに応じたケアプランの調整と合意形成。
- 焦点：「この人」の今の生活をどう支えるか。

### 地域ケア会議



- 主催：市町村・地域包括支援センター
- 目的：個別事例の検討から、地域に共通する課題を抽出し、新たな社会基盤の整備や政策に繋げる。
- 焦点：「地域全体」のネットワーク構築と資源開発。